

早稲田大学図書館新収貴重書(一一)

警世通言 四〇卷

明・馮夢龍編 天啓四年序 唐本(二六×一六cm) 一〇冊  
請求記号 特へ21 四二五〇(一―一〇)

中国の口語体小説集。明末の馮夢龍(ふうむりゅう 一五七四―一六四五)が編集した所謂「三言」(『喻世明言』、『醒世恒言』、『警世通言』)のひとつ。内容は、有名な白蛇伝説(第二八話白娘子永鎮雷峰塔)等、宋元明代の小説四〇篇を収めている。

編者馮夢龍は、果知事などを務めた政治家であるが、姑蘇詞奴、顧客散人などの号を持つ文人でもあり、この他にも『笑府』、『知囊』、『平妖伝』、『新列国志』等の小説集を編んでいる。主に民間の講釈本を基にできた話本を素材にしているが、編者あるいは、明代の文人の創作部分も混るといわれ、随所に俗謡、詩文が挿入されていることや、導入話が付いているという特徴を持つ。

日本では、江戸後期の岡白駒が翻訳するなど比較的早くから伝っている。しかし、初版であるとされる金陵兼善堂刊本の伝本は、極めて少ない。大塚秀高氏の『増補中国通俗小説書目』によると、四〇巻四〇図の完本あるいは完本に近いものは、わずかに東京大学東洋文化研究所倉石本、蓬左文庫本の二本にすぎない。この二本は、同版で蓬左文庫本を後印本とされる。但し、前者は封面と第一七図を欠く。

本書は、兼善堂刊本と系統を同じくする。ただし、前述の二本の特徴である目次と本文の異同(本文の巻三五を三四とし、ために巻三四が内容を異にするが複出。巻三九を三五とするなど)は見られない。

印刷も、倉石本、蓬左文庫本と比べ、遜色はない。また第一図に刻工名があり、特に図版は極めて綺麗である。印記は「天香書屋」「雲巢」。なお、本書には封面を欠くほか、巻一四の巻頭一丁を綴じ違えるなどの跡のある改装本であるが、兼善堂刊本の系統本として優れたものといえよう。

掲載した図版は、本文巻頭と第四〇話の図版である。



第一卷

俞伯牙。摔琴。謝知音。

浪說會分鮑叔金。

於今交道。奸如鬼。

誰人辨得伯牙琴。

潮海空懸一片心。

古來論交情至厚。莫如管鮑。管是管夷吾。鮑是鮑叔牙。他兩箇同爲商賈。得利均分。時管夷吾多取其利。叔牙不以爲貪。知其貧也。後來管夷吾被囚。叔牙脫之。薦爲齊相。這樣朋友。纔是箇真正相知。這相知有幾樣名色。恩德相結者。謂之知己。腹心相照者。謂之知心。聲氣相求者。謂之知音。總來叫做相知。今日聽



旌陽宮鍊樹  
鎮妖